

# 口頭発表プログラム 3月24日

会場 (10階 ホール)

時間	座長	優秀若手発表賞発表	
13:00	吉原 佑	Y01	温暖化の影響を評価する寒地型牧草生産モデルのモデル選択とその検証 ○樽見恵梨奈1・築城幹典2・森 昭憲3 (1岩手大院連農・2岩手大農・3農研機構畜産研究部門)
13:15		Y02	Use of hand-held devices to estimate grass biomass of pasture in Toimisaki, Japan ○Weiru Song1・Xiaoqin Li1・Rende Song2・Guomei Li3・Aya Nishiwaki1 (1University of Miyazaki・1University of Miyazaki・2Yushu yak Comprehensive Research Station・3Yushu Prairie Center, China)
13:30		Y03	ウシの糞塊が草地土壌の物理性と化学性に及ぼす影響 ○尹 麗瑛・宍戸哲郎・小倉振一郎 (東北大)
13:45		Y04	ウシにおける植生識別能力の評価：緑草の有無の識別に対する異なる感覚の寄与 ○草竹理子・山崎未園・安在弘樹・平田昌彦 (宮崎大)
14:00		休憩	
14:15	井上秀彦	Y05	リンゴジュース粕をイネWCSに混合して調製したサイレージの化学組成、発酵品質及び嗜好性に関する研究 ○梅木直哉1・姜東鎮2・鈴木裕之2・松崎正敏2 (1岩手大院・2弘前大)
14:30		Y06	山形県庄内地域における極短穂WCS用イネ品種・系統の適応性の評価 ○福室絢大1・松山裕城1・堀口健一1・中込弘二2・松下 景3・浦川修司1 (1山形大・2西日本農研・3中央農研)
14:45		Y07	飼料用水稲の茎と根における出穂後の非構造的炭水化物の蓄積 ○太田怜奈・近藤 誠・関谷信人 (三重大院生物資源)

口頭発表プログラム 3月25日

A会場 (9階 会議室1)				B会場 (9階 会議室3)			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
9:30	出口新	201	フィールドピー（エンドウ）およびフィールドピーン（ソラマメ）導入品種の北海道東部における生育特性 ○安達美江子（ホクレン訓子府実証農場）	9:30	小倉振一郎	301	ウシにおける植生識別能力の評価：緑草と枯死草の識別に対する異なる感覚の寄与 ○草竹理子・山崎未園・安在弘樹・平田昌彦（宮崎大）
9:45		202	異なる窒素追肥条件下における子実用トウモロコシに対する葉位別摘葉処理が収量および収量関連形質に及ぼす影響 ○義平大樹1・宋粮1・長岡詩帆1・土井希晃1・中島大賢2・佐藤智宏3・村井祐介4（1酪農大・2北大・3バイオニアエコサイエンス・4カネコ種苗）	9:45		302	電気牧柵を活用した親子分離草地 ○池田隆太郎・藤森雅博・東山由美・小松篤司（東北農研）
10:00	休憩		10:00	303		市販の運動強度計を用いた放牧育成牛の採食行動の1シーズン連続測定 ○八木隆徳（農研機構北農研）	
10:15	眞田康治	203	天北地方における寒地型牧草2草種の耐乾性の差異と、生産性および飼料品質の比較 ○岡元英樹1・安 萍2・石井一成3・古館明洋4・大橋優二4・笹木正志5・松原哲也5（1道総研天北支場（現：道総研上川農試）・2鳥取大学乾燥地研究センター・3鳥取大学乾燥地研究センター（現：千葉県庁）・4道総研天北支場（現：道総研中央農試）・5道総研天北支場）	10:15	休憩		
10:30		204	ベレニアルライグラス混播採草地の特性 4. 造成後利用1年目の収量水準と植生変化 ○須藤賢司1・大塚博志2（1北農研・2ホクレン）	10:30	座長	5. 生理・形態・病理・昆虫	
10:45		205	根釧地域におけるベレニアルライグラスの秋の刈取り管理が翌春の欠株率および収量に与える影響 ○角谷芳樹・牧野 司（道総研根釧農業試験場）	10:45	佐藤広子	501	ソルガム茎葉形質のQTL解析 ○川東広幸1・米丸淳一1・北原茉依2・春日重光2（1農研機構 次世代作物センター・2信州大学 農学部）
					502	低フィチンダイズの育成とその特性および生産性 ○実岡寛文・秦 東・若林幹太・赤堀 巧（広島大生物圏科学研究科）	

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月25日

C会場 (9階 会議室4)				D会場 (10階 会議室7)			
時間	座長	シニア		時間			
9:30	市戸万丈	S01	オーチャードグラスの出穂・開花-池谷文夫氏の研究成果紹介 ○雑賀 優 (元岩手大学)	9:30			
9:45		S02	海洋草食ほ乳類ジュゴンの栄養要求 ○後藤正和	9:45			
10:00		S03	海洋草食ほ乳類ジュゴンの消化特性 ○後藤正和	10:00	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
10:15		S04	食・農分野で活躍する人材育成プログラムの構築に携わって ○川村 修 (元 宮崎大)	10:15	安田泰輔	101	葉緑体DNAの塩基配列に基づくリードカナリーグラスの栽培品種と在来系統の識別 ○芝池博幸1・江川知花1・上山泰史2 (1農研機構・農業環境変動研究センター・2農研機構・畜産研究部門)
10:30	休憩		10:30	102		空撮画像を利用したチモシー採草地におけるシバムギの判別 ○坂上清一1・渡辺也恭2・八木隆徳1・杉戸克裕1・森 公象3・伴苗行弘3 (1農研機構北農研・2農研機構西日本農研・3家畜改良センター十勝)	
10:45	S05	昭和から平成への飼料調製機械開発研究 ○市戸万丈 (畜草研・草地試)	10:45	103		ミサキウマの排糞による種子散布について ○西脇亜也・桑畑成美 (宮崎大)	
11:00	後藤正和	S06	九州中部高原地域の寒地型牧草地をめぐる諸問題 ○増田泰久 (元九大農)				
11:15		S07	草地の泥濘化とその対策、ニュージーランド農家の知恵 ○宮脇 豊 (サージミヤワキ株式会社)				
11:45		S08	第9回MBFTと河西回廊ゴビ砂漠草地ワークショップの概要 ○中川 仁 (浜松ホトニクス)				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月25日		
E会場 (10階 会議室8)		
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用
9:30	大越安吾	401 泌乳牛への生稲ワラサイレージの給与方法の検討 ○小橋有里1・北村 亨2 (1新潟農総研畜研センター・2雪印種苗 (株))
9:45		402 フレキシブルコンテナに破碎穀実を滞りなく詰めるための破碎物振り分け作業体系 ○魚住 順・嶮野英子・河本英憲・神園巴美 (東北農研)
10:00		403 大型破碎機とフレコンラップ法を用いたトウモロコシ子実サイレージの迅速調製体系の実証 ○嶮野英子・魚住 順・河本英憲・神園巴美・宮路広武・長谷川啓哉・出口 新・内野 宙 (東北農研)
10:15		404 フレコンラップ法を用いた粳米および子実用トウモロコシの一時貯蔵技術 ○嶮野英子1・遠野雅徳2・魚住 順1・河本英憲1・神園巴美1・内野 宙1・出口 新1 (1東北農研・2畜産研究部門)
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>		

# 口頭発表プログラム 3月26日

A会場 (9階 会議室1)				B会場 (9階 会議室3)			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間			
9:00	内野 宙	206	飼料用イネの乾田不耕起直播栽培の実証（第2報） ○小林富雄1・塚本茂善2・水流正裕1・後藤和美1（1長野畜試・2革新工学センター）	9:00			
9:15		207	簡易耕によるアルファルファ（ <i>Medicago sativa</i> L.）単播草地の造成 ○水流正裕・浅井貴之・有野陽子（長野畜試）	9:15			
9:30		208	国産汎用コンバインによるトウモロコシ子実の収穫作業能率と収穫係数 ○浅井貴之・三木一嘉（長野畜試）	9:30	座長	7. 土壌肥料	
9:45		休憩		9:45	岡元英樹	701	北海道天北地域の採草地における土壌還元反応と乾き易さの関係 ○有田敬俊・二門 世（道総研 上川農試天北支場）
10:00	義平大樹	209	不耕起栽培への冬作被覆作物の導入がトウモロコシの収量に及ぼす影響 ○出口 新・内野 宙・魚住 順・嶮野英子・河本英憲（農研機構 東北農研）	10:00		休憩	
10:15		210	根釧地域の飼料用トウモロコシ極早生品種における適正栽植密度 ○林 拓2・牧野 司1・酒井 治1・三枝俊哉3（2根釧農試 現上川農試天北支場・1根釧農試・3根釧農試 現酪農学園大）	10:15	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
10:30		211	関東南部におけるTDN収量が多収となるサイレージ用トウモロコシ二期作の栽培体系 ○折原健太郎1・秋山 清2・辻 浩之1・森村裕之1・齋藤直美1（1神奈川畜技セ・2神奈川県畜産課）	10:30	池田堅太郎	304	栃木県南部におけるペレニアルライグラスを用いた定置放牧下での被覆尿素利用評価 ○平野 清・中尾誠司・進藤和政・下田勝久・井出保行・山田大吾（農研機構畜産研究部門）
10:45		212	飼料用ダイズの安定多収栽培技術の開発ーリピングマルチとして導入するイタリアンライグラス適品種の検討ー ○内野 宙・魚住 順・出口 新・河本英憲・嶮野英子・神園巴美（東北農業研究センター）	10:45		305	連続放牧を活用した乳牛飼養技術の開発 4. 濃厚飼料無給与牛とトウモロコシ子実サイレージ給与牛の産乳性 ○須藤賢司・上田靖子・朝隈貞樹・青木康浩（北農研）
休憩						306	トールフェスクは土壌中の交換性カリが低下しても放射性セシウム濃度の上昇が小さい ○桐村恭子1・大槻和夫1・渋谷 岳1・山田大吾1・吉田由里江2・松波寿弥2（1農研機構畜産部門・2農研機構東北農研）
13:00	平野清	213	熊本県におけるイタリアンライグラスの播種時期の違いが収量及び硝酸態窒素濃度に及ぼす影響（第1報） ○北川まき1・林田雄大1・鶴田 勉1・大川夏貴2（1熊本県農研セ畜研・2熊本県北阿蘇振興局）				
13:15		214	Year-round grazing potential of dwarf napiergrass pasture in southern Kyushu（南九州の矮性ネピアグラス草地における周年放牧利用の可能性の検討） Hamid Kadwal1・○Yasuyuki Ishii2・Ayaka Goto2・Li Bo Kun3・Sachiko Idota2・Mitsuhiro Niimi2・Genki Ishigaki2・Kiichi Fukuyama2（1Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, University of Miyazaki・2Faculty of Agriculture, University of Miyazaki・3Graduate School of Agriculture, University of Miyazaki）				
13:30		215	エンバク夏播き栽培における播種時期および栽植様式がヒエとの競合におよぼす影響 ○加藤直樹・服部育男（農研機構九沖農研）				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日

C会場 (9階 会議室4)				D会場 (10階 会議室7)			
時間	座長	6. 育種		時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
9:00	久保田明人	601	準高冷地において選抜・育成したライムギ系統の越冬性評価 ○春日重光1・大久保壱郎1・小山西光輔2・関根平2・野宮桂2 (1信大農学部・2雪印種苗株式会社)	9:00	川村健介	104	シバ型放牧草地における放射性セシウムの動態とモデル化 山下大貴1・築城幹典1・○榎村恭子2 (1岩手大・2農研機構畜産研究部門)
9:15		602	ソルガム新品種「東山交37号」の育成と特性 ○清沢敦志1・水流正裕1・後藤和美1・清水一2・石川靖之2・折原健太郎3・今雪幹也4・田中勝啓4 (1長野畜試・2カネコ種苗(株)・3神奈川畜技セ・4香川畜試)	9:15		105	放棄初年目の夏緑雑草畑草地におけるバイオマスと種構成の経時的変化を測る ○塩見正衛1・陳俊2・菅原彩1・山村靖夫1 (1茨城大・2西北農林科技大)
9:30		休憩		9:30		106	投入資源量への反応曲線としてのMitscherlich曲線 ○塩見正衛1・松中照夫2 (1茨城大・2酪農学園大)
9:45	秋山征夫	603	いもち病抵抗性集団に由来する年内出穂型イタリアンライグラス母系の夏播き栽培における生育特性 ○桂真昭・荒川明・松岡誠・波多野哲也・高井智之・上床修弘 (九冲農研)	9:45		107	外来牧草の自然公園における定着規模と農業利用との関係：北海道における検討 ○江川知花1・大澤剛士1・西田智子2・古川泰人3 (1農研機構 農環研センター・2農研機構本部・3酪農学園大)
10:00		604	暖地型イネ科牧草の新しいゲノム編集技術確立に向けた不定胚培養法の検討 ○権藤崇裕1・山田智仁2・明石良2 (1宮崎大フロンティア・2宮崎大学農学部)				
10:15		605	寒冷地・温暖地向け高消化性オーチャードグラス系統の選抜とその特性 ○内山和宏1・清多佳子1・上山泰史1・荒川明2・水野和彦1 (1農研機構・畜産研究部門・2農研機構・九州沖縄農業研究センター)				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日			
E会場 (10階 会議室8)			
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
9:00	喜田環樹	405	静電容量式水分測定器と定荷重装置を用いた牧草含水率推定手法の開発 ○川出哲生 (農研機構 畜産部門)
9:15		406	ラップサイロを対象とした電磁波伝送特性非破壊測定装置の試作 ○松尾守展1・昆盛太郎2・長田享1・松野更和1・滝元弘樹1・志藤博克1 (1農研機構・革新工学センター・2産総研・1農研機構・革新工学センター)
9:30		407	バンカーサイロに貯蔵した牧草サイレージの排水性に影響する要因 ○大越安吾 (道総研根釧農試)
9:45		休憩	
10:00	嶮野英子	408	乾燥調製の温度および期間が緑茶粕の $\alpha$ -トコフェロール含量および飼料成分含量に及ぼす影響 ○深川 聡・高木英恵・嶋澤光一 (長崎農技セ)
10:15		409	ソルガム新品種ターザンのサイレージ品質に及ぼす雑草混入の影響 ○井戸田幸子1・小谷莉子1・本郷泰充1・飛佐学1・石井康之1・西村慶子2・有馬典男2 (1宮崎大・2宮崎県畜産試験場)
10:30		410	早刈り、3回刈りで収穫したオーチャードグラス・ペレニアルライグラス混播牧草サイレージの飼料特性 ○矢島 昂・青木康浩・宮地 慎・多田慎吾 (北農研)
休憩			
13:00	小橋有里	411	収穫方法および乳酸菌・酵素製剤の添加がアルファルファロールペールサイレージの品質に及ぼす影響 (第2報) ○浅井貴之1・水流正裕1・有野陽子1・篠田英史2・本間 満2 (1長野畜試・2雪印種苗)
13:15		412	飼料用米の刈取時期の違いが籾米サイレージの栄養成分に与える影響○林田雄大1・大川夏貴2・北川まき1・武 嘉昭2・鶴田 勉1 (1熊本県農研七畜県・2熊本県北阿蘇振興局)
13:30		413	予乾牧草サイレージの好気的変敗を抑制する乳酸菌○本間 満1・谷口大樹1・北村 亨1・田辺裕司2・服部育男3 (1雪印種苗(株)・2岡山県畜産研・3農研機構九沖農研)
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分 (一鈴: 10分、二鈴: 12分、三鈴: 14分30秒) です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。			